

一般質問(要旨)

●質問者

10月7日(木)

加藤 明良 (いばらき自民党)

長谷川 重幸 (いばらき自民党)

設楽 詠美子 (立憲いばらき)

10月8日(金)

高安 博明 (県民フォーラム)

村田 康成 (いばらき自民党)

大瀧 愛一郎 (いばらき自民党)

10月11日(月)

中村 はやと (無所属)

山野井 浩 (いばらき自民党)

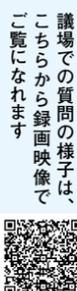
田村 けい子 (公明党)

10月12日(火)

川口 政弥 (いばらき自民党)

江尻 加那 (日本共産党)

村上 典男 (いばらき自民党)



加藤 明良 議員  
いばらき自民党  
水戸市・城里町選出

コロナ禍により疲弊している  
中小企業・個人事業者への支援

議員 酒造メーカーやイベント業者、花火業界など、売上げが減少し疲弊している中小企業・個人事業者の支援に、どう取り組むのか。  
知事 今定例会では、外出自粛や営業時間短縮の影響を受ける幅広い事業者を対象とした県独自の一時金について、年間売上高に比べて最大500万円まで支給する過去に例のない制度の創設を提案した。融資制度の活用促進などと併せて、スピード感を持って広く県内事業者の支援に努める。

カーボンニュートラル社会の  
実現に向けた取組

議員 ゼロカーボンシティの表明など、本気度が伝わるメッセージを早急に発信し、全県的に取り組みを加速させるべきだが、所見は。  
知事 表明について、現時点では達成に向けた道筋を示すことは難しい。地域特性を踏まえた脱炭素化の取り組みや、産業競争力の強化につながるプロジェクトの推進などの先駆的な取り組みにより、実現に向けた姿勢を示していく。(ほかに、若年層へのワクチン接種、茨城クロスメディアの核となる県域テレビの実現なども質問)



中小企業・個人事業者への支援を  
(写真は茨城の地酒(一部))



長谷川 重幸 議員  
いばらき自民党  
銚田市・茨城町・大洗町選出

農業由来の廃プラスチックの  
リサイクル

議員 農業由来廃プラスチックを適正に処理していくため、茨城県園芸リサイクルセンター\*の経営改善、運営に、どう取り組むのか。  
農林水産部長 今年度から、処理工程の見直しを含めた修繕計画の作成、ビニール再生品の販路や処理委託業者の開拓などを行う調査事業を進めている。加えて、ビニール再生品の安定生産に向け、近隣県との広域処理の検討も継続して行うなど、センターの運営改善と農家の負担軽減に努める。

県立高等学校の定員割れへの対応

議員 高等学校は地域コミュニティの中心として重要な存在である。生徒数減少に、どう対応するのか。  
教育長 学校の小規模化にはICTを活用した複数校での学習活動などを推進する。各校の魅力発信の支援なども進めているが、今後、地域と一体となった学校づくりを進めていくとともに、意見交換の場を設け、地元意見を丁寧に把握し、必要な改革につなげていく。(ほかに、本県における農業DXの推進、高齢者の自動車運転免許証の更新なども質問)



適正な処理が求められる  
園芸用ビニール資材



高安 博明 議員  
県民フォーラム  
日立市選出

ものづくり産業の成長を促す取組

議員 IT活用、人材確保などの課題がある中、県内ものづくり産業の成長に、どう取り組むのか。  
知事 産業技術イノベーションセンターに模擬スマート工場や5G体験スペースを整備するなど、デジタル技術の活用を促進する。また、県内に誘致した事業者とのマッチングで新たなビジネスの創出に繋げていく。さらに、現場のニーズに即したIT人材育成にも積極的に取り組む、本県のものづくり産業の発展を実現していく。



産業技術イノベーションセンター  
における研修の様子

新産業廃棄物最終処分場における  
整備方針

議員 集中豪雨などの自然災害に対する安全性について、新産業廃棄物最終処分場の整備方針は。  
県民生活環境部長 処分場整備の基本計画を策定するため、専門家などで構成する委員会を設置した。施設の確保を掲げ、災害に耐えうる施設づくりを目指す。水処理については浸出水処理施設や防災調整池の整備を検討していく。(ほかに、新型コロナウイルス感染症抑制に向けた検査体制、介護現場へのICT導入なども質問)



設楽 詠美子 議員  
立憲いばらき  
筑西市選出

学びの選択肢を広げるための支援

議員 母子家庭でも貧困家庭でも、どんな家庭のお子さんでも夢をかなえることができるよう、学びの選択肢を広げるための支援にどう取り組んでいくのか。  
教育長 公立小中学校では、経済的理由で就学困難な児童生徒の保護者に、市町村が学用品費などを助成し、高校では、授業料やその他の教育費も支援している。これらの支援制度の周知に努めるとともに、児童生徒が望む進路を選択できるように取り組んでいく。



学びの選択肢を広げるための  
さらなる支援を

令和3年度9月補正予算案が全会一致で可決

- 感染拡大防止と経済活動の両立を図るために必要な事業や、防災・減災対策の推進などの県政の課題などへ対応するため必要な事業について計上した9月補正予算案(約769億9400万円)が全会一致で可決されました。
- ◆9月補正予算案に計上された主な事業
  - (1) 感染拡大防止策と医療提供体制の整備など(約717億4000万円)
    - ・ 感染拡大に伴う病床確保、宿泊療養施設の増設、臨時医療施設の運営、ワクチン接種の支援など(約347億5500万円)
    - ・ 県からの営業時間短縮要請に応じた飲食店などに対する協力金支給(約362億8000万円) など
  - (2) 県民生活などへの支援(約39000万円)
  - (3) 看護師等修学資金の貸与枠の拡充(33000万円) など
  - (4) 県内産業などへの支援(約28億17000万円)
    - ・ 県の営業時間短縮要請などにより影響を受けた事業者に対する一時金支給(約26億74000万円) など
  - (5) 今後の備え(10億円)
- 県政の課題などへの対応(約14億34000万円)
  - ・ 茨城中央工業団地2期地区への企業の進出に伴う周辺道路などの整備
  - ・ 緊急的に対応が必要な橋梁の補修、公営住宅の修繕工事 など

※【茨城県園芸リサイクルセンター】…県内の農業生産活動由来の廃プラスチックについて、ビニールやポリエチレンの適正な回収、再生処理等を行うため、県が茨城町に設置している施設。